

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年10月25日 第30報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	2		
(藍) <i>Anabaena spiroides var. crassa</i> *	1		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	210		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis var. pusilla</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	60		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	100		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	32		
(緑) <i>Coenocystis sp.</i>	64		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	40		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	32		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	3	0.5	3.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	230	40.9	22.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	28.5	8.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	169	30.1	65.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	562	総体積	1.4E+06
種 類 数	12	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

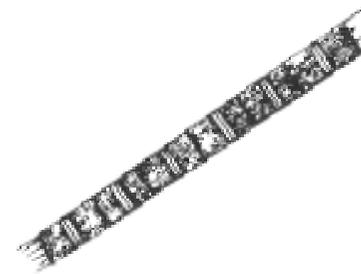
動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Tintinnopsis cratera</i>	120

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Epistylis sp.</i>	100

*個体数については、プランクトンネット(300 \times 25)で採取したものを直接検鏡して計測した。

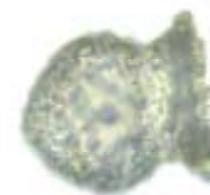
植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

動物プランクトン第1優占種



Tintinnopsis cratera
(スナカラムシ)
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は、砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。

コメント:

植物プランクトンで、体積で最も大きかったモウゲオチアは緑藻のツツミモに属し、葉緑体が板状である特徴がある。琵琶湖では以前から見られてきた。

動物プランクトンはスナカラムシが最も多かったが、スナカラムシは繊毛虫の中の旋毛虫綱の中の有鐘類に属する。旋毛虫綱に属する種は口前膜と呼ばれる器官を口の周りに持っている。有鐘類は殻の中に入って生活し、形はカブ形、ラッパ形で口の反対側の先で殻に付着している。